

特別養護老人ホーム 第二天神の杜

ま す な

- 絆 -

第 4 2 号

2022年3月31日発行



第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜



家族の会ご挨拶



副会長 近藤 千裕

例年に比べ、寒さの厳しかった冬もようやく終わりを迎え、時折吹く風に春の始まりを感じる頃になりました。

家族の会、会員の皆様におかれましては、日頃から当会運営にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

京都のコロナの状況は、去年の暮れには少し落ちつきを見せ、このまま終息に向かう事を期待しましたが、年が変わってから変異株の猛威に見舞われる状況が続いています。重症化しにくいとは言われていますが、身近に高齢者がいる私達にとっては、気の休まらない日々が続いています。

去年のこの時期も同様でしたが、まさか二年続いてこのような状況になるとは一年前には、期待も込めて想像していませんでした。第二天神の杜においては、この一年、さまざまなイベントの中止や、面会の制限と言う形で今も影響を受けていますが、いかに入居者のみなさんに日々を健やかに楽しく過ごしていただくか。職員のみなさんを中心に考えて、知恵を出し合しあい、実行していただいています。ガラス越しで母親に面会する時に、穏やかに過ごしている母親の姿を見ては安心するとともに、さまざまな制限があるなかで、入居者に明るくにこやかに寄り添っていただく職員のみなさんの姿をみて、安心と感謝の気持ちで一杯になります。

家族の会といたしましては、この環境下で何ができるのか。これからも職員の方々とともに考えて行動していきたいと思えます。会員の皆様からも些細なことでも、ご意見が頂戴できれば幸いです。

新年度を迎えるにあたり、家族の会役員といたしまして、微力ではありますがこれからも努力していきたいと思えます。今後とも家族の会の運営にご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

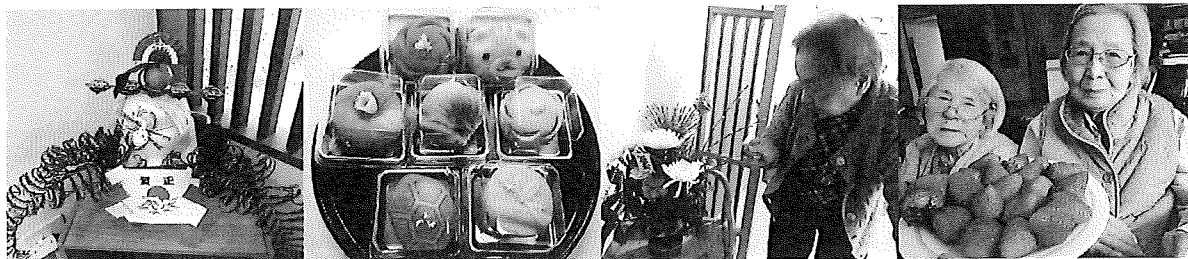


家族の会活動報告



1月1日 鏡餅の贈呈・正月用のお花の贈呈

3月3日 苺の贈呈



※まん延防止等重点措置の期間の為、昨年引き続き家族の会総会を書面にて実施しました。

ふれあい広場

このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に
取り上げています。家族様から寄せていただいたお話
をご紹介します。

叔母 伊庭 保子の思い出

北村 孝子

私の叔母、伊庭 保子が逝って早一ヶ月が経とうとしています。

2月10日に突然意識を失いました。心房細動でした。すぐ回復したものの三日後に脳梗塞を発症し喋れなくなり救急搬送されました。病院の先生の治療のお陰で少し話せるようになりましたが、嚥下機能が失われてしまいました。先生からはご本人から「胃瘻や鼻チューブ等はないで欲しい、自然に生きさせてほしい」と伺ったので、これ以上何も出来ないのので看取りとして退院を勧められました。

退院の日、叔母を迎えに行くと目を開けてはいるものの虚ろで本当に喋れるようになったのかと心配しましたが、施設に帰り着くと嬉しかったのか職員の皆様とたくさん喋ったそうです。その間に私は抗原検査を受け施設の特別の計らいで叔母の部屋に入ることが出来、お誕生日ケーキと職員の方がお持ち下さいましたプリンセスカサブランカ（ピンクパレス）が印象的な花束とで90才のお誕生日を祝いました。先生がご指示下さった退院の日が丁度叔母の誕生日だったのです。ユニットの職員さんがお休みにも拘らず手作りの大きな誕生日祝いのポスターを持ってこられ、叔母に見えるよう壁に貼って下さいました。少人数ずつ職員の方々が叔母の部屋を訪れられ、叔母も脳梗塞を起こす前ほどではないもののおしゃべりが出来、このまま嚥下が回復するかもと一瞬微かな希望を持ちました。

叔母は食いしん坊で、食べたいものをいろいろ試しましたが、嚥下がほとんど機能せず、嚥下に限度もあり、ケーキもスプーンに少し取って舐めてもらうだけ。最後の食事は醤油ラーメンでしたが、お出汁をスポンジに含ませて舌を湿らす程度でした。それでも叔母は美味しいと笑顔を見せてくれました。

ジュースやミルクも退院後二日目に合計100cc取ったのが最後で（水分を摂ると痰が大量に発生し、吸引しないと命に係るそうです。実際、苦しいようで叔母は徹底抗戦していました。点滴でも同じようになるそうです）その後は水分を含ませたスポンジで口腔内を湿らせることしか出来なくなり、目も閉じたままにしていることが多くなりました。それでもこちらの問いかけに微かに頷いているように見えました。そして退院から一週間目の2月28日早朝に逝きました。

エンゼルケアで職員の方に美しくお化粧を施された叔母を見て思わず「きれい！」と言ってしまったほど穏やかで美しい姿でした。

点滴を行うことで、命を長らえさせることは出来るそうです。しかし、老人看護と介護を担って下さった看護師さん、職員の方々の経験から既に水分を受け入れられなくなっている身体に無理やり水分を入れても、例えば風船に水を入れるようなもので浮腫みとなり、痰の発生で窒息してしまうと言われます。そこで痰を吸引することになるのですが、叔母が嫌がったように大変苦しいそうです。私の母も天神の杜さんにお世話になり、血管障害で入院していた病院を退院してからの九日間、口を湿らせる程度の水分補給でしたが苦しい表情を見せず本当に穏やかに逝き看取ることが出来ました。この経験があり、叔母の「自然が良い」という言葉で無理をしない生き方を選べたことは第二天神の杜の看護師さん、職員の皆様のお陰と感謝してもしきれません。

パーキンソン病の叔母が施設に入居させていただいてから約11年9カ月、本当に長い間我儘な叔母をお世話下さりありがとうございます。叔母は生涯独身でしたが、甥や姪その子供たちに囲まれ、看護師さんや職員の皆様から手厚い介護を受け家族の様に過ごさせていただいた中で身罷りました。幸せな旅立ちであったと思います。心より感謝申し上げます。

ユ ニ ッ

わかくさ

3月7日 ウェルカムパーティ

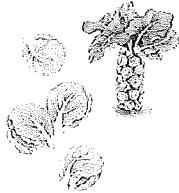
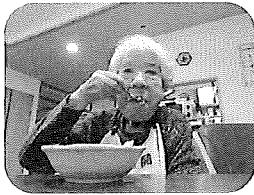
新しくご入居された方の大好物なすき焼きを皆でいただきました。



さわらび

1月23日 みんなで芽キャベツを楽しもう!

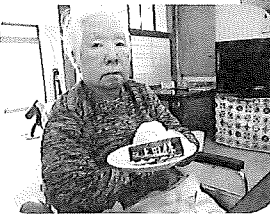
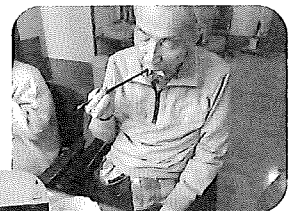
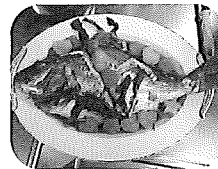
収穫後はパーニャカウダーにして舌鼓を打ちました。



なでしこ

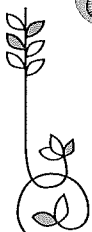
お誕生日会

藤井健治様 85歳、上田一子様 90歳のお祝いをしました。



1月31日 朝の体操

朝食後にテレビを観ながら身体を動かします。



ト 報 告

ききょう

お誕生日のお祝い
1月と2月生まれの方、誕生日のお祝いの様子です。



新しくご入居されました
秋田喜代江様、菊池泰子様 これからよろしくお祈りします。

はぎ

1月1日 元旦
お重から好きな物を選んで食べていただきました。

1月2日 お誕生日会
竹内君子様をご入居されて初めてのお誕生日を迎えられました。



こぐり

3月3日 ひな祭り
ちらし寿司などを美味しくいただきました。

お誕生日
ケーキやプレゼントでお祝いました。



第二天神の杜サークル活動の紹介

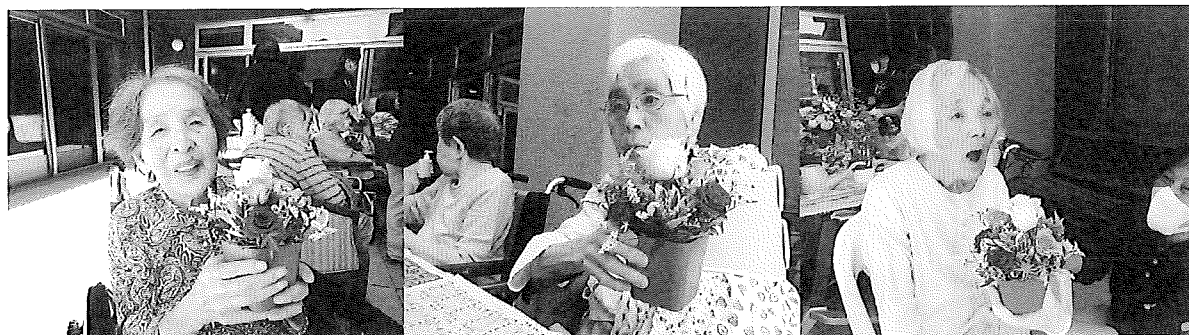
今回は『園芸サークル』の活動紹介をさせていただきます。

園芸サークルは『植物を育てる喜びや、四季を肌で感じながら生活していただく』をテーマに、琉球アサガオ、苺、ジャガイモ、トウモロコシ、胡瓜、トマト、枝豆、芋、西瓜、里芋、大根などの花や野菜を育てました。『植える』『育てる』『収穫する』『料理する』『食べる』『笑う』を皆で楽しめた1年間でした！！

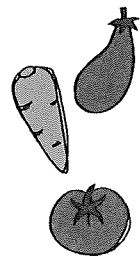
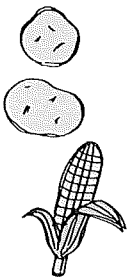
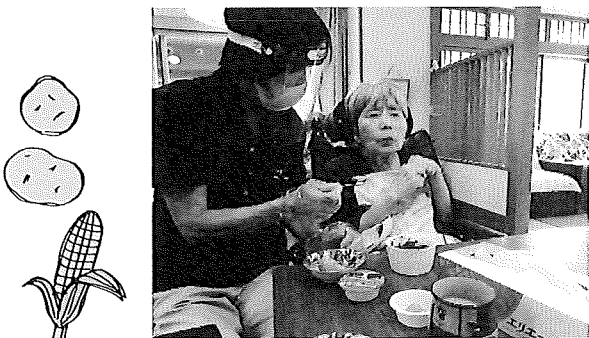
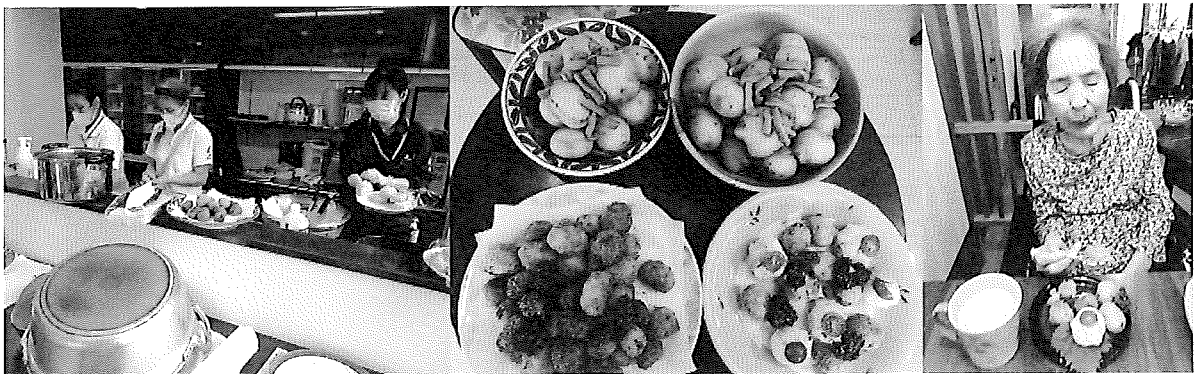
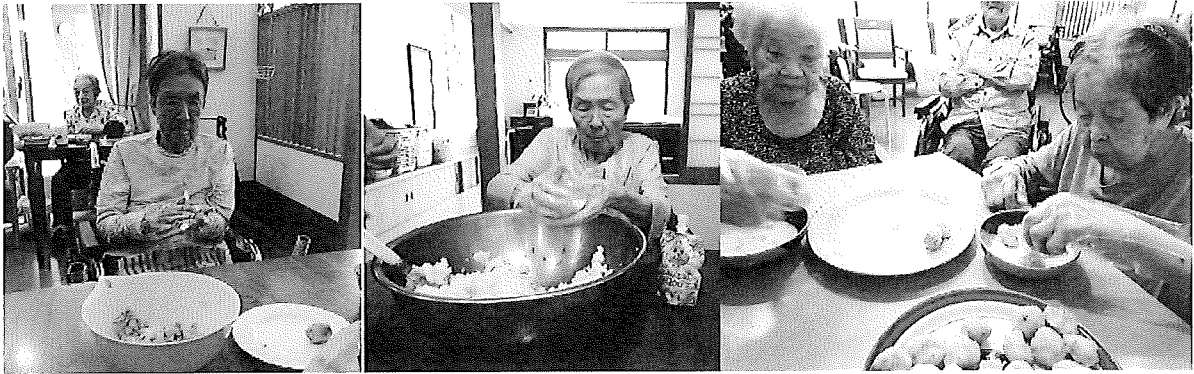
春



夏



秋

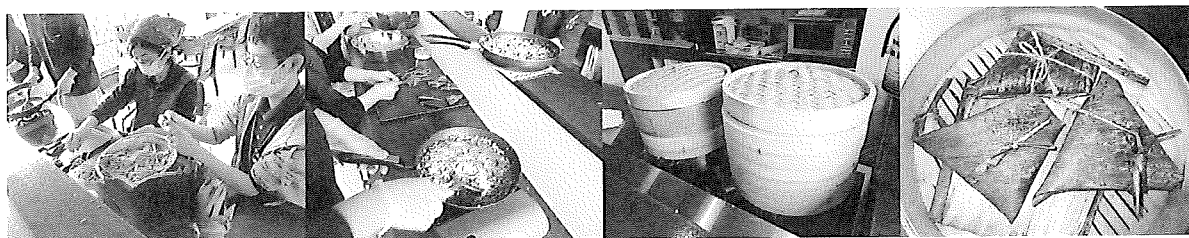


冬



☆食彩委員会による食彩企画

「中華粽（ちまき）」を作りました。竹の皮や笹の葉で包むことで、蒸しているときから香りが良く、入居者の皆様は『今日何があるの?』と職員に楽しそうに声をかけて『何が入っているの?』と、粽（ちまき）の結んでいる糸をニコニコしながら解き『おいしいわ』『笹のいい匂いがする』と話しながら、嬉しそうに召しあがられていました。



☆消防訓練

2月21日に消防訓練を実施しました。夜間に1階で火災が発生した想定での避難訓練では、職員が「火事だー火事だー」と周囲に聞こえるように大きな声を出しながら、初期消火と避難誘導を行いました。

身近にある消火器の位置や使い方を再確認することで、万が一にも火災が発生した時に迅速に消火活動をする大切さを実感する機会になりました。



社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112
ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>
[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]